

Office2019、Access2019 ボリュームライセンスインストール手順

世界のお客様にモノづくり視点による全工程のソリューションを提供し新たな板金市場を創造する

- 第2版 -

2022年9月7日

株式会社 アマダ 株式会社 ケーブルソフトウェア





- 1. はじめに
- 2. インストール準備
- 3. インストール実施

1. はじめに



正直、Office2019及びAccess2019のボリュームライセンス版のインストールは大変です。

自分でインストール用の設定ファイルを作成した上で、コマンド プロンプトからインストールを実施する必要があります。

可能ならOffice2016及びAccess2016のボリュームライセンス版のインストールをお勧めします。

こちらは従来スタイルでインストール出来ます。

Office2019かAccess2019かによって、手順6インストール用の設定ファイル作成方法)が異なります。

インストール実施の手順は同じです。



- 1. VLSCページに行ってサインインする。
 - https://www.microsoft.com/Licensing/servicecenter/default.aspx
 - ※Microsoftアカウントのアドレスとパスワードが必要となります。
- 2. 製品のダウンロードページを開く。
- 3. ダウンロードできる製品一覧の中からAccess2019の ダウンロードボタンを押下してダウンロードを行う。 「Office_Deployment_Tools_2019_*****」のような ファイル名のEXEがダウンロードされます。



- 4. ダウンロードしたEXEを実行すると英語ですが チェックボックスにチェックを付けて Continueをクリックする。
- 5. 展開先のフォルダを選んでOKをクリック。「Files extracted successfully.」と表示されたら成功。指定したフォルダの中に3つのファイルが作成されます。※注意:ドライブ直下は指定出来ません。

今回は例として「デスクトップ」にダウンロードします。



【Office2019の場合】

6. XMLファイルを手作成ではなくMicrosoftの提供する自動作成サイトにて作成する。 https://config.office.com/deploymentsettings

色々と選択項目が出てきて面倒ですが、 「製品とリリース」「言語」「更新とアップグレード」以外は デフォルトのままでOKかと思われます。

最初に「Officeスイート」を選択してください。 こちらは実際にインストールする製品に合わせてください。

「更新チャネル」はそのままで「アプリ」の中で不要な物はチェックをオフにしてください。

「言語」は「日本語」を選択し、他はそのままでOKです。



【Office2019の場合】(続き)

6. 続き

以降の設定はデフォルトでOKだと思われますので、 言語設定をしたら画面右上にある「エクスポート」をクリック。

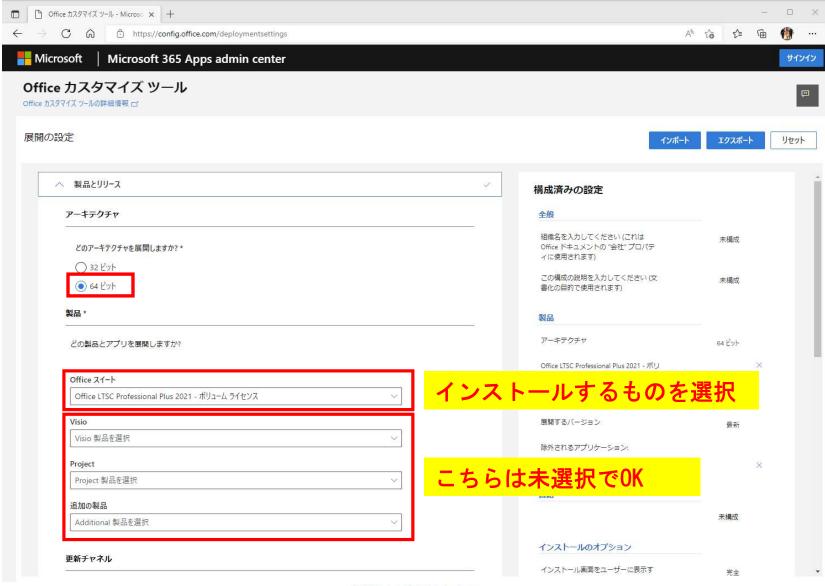
既定のファイル形式というウィンドウが表示されますが「Office Open XML の形式」を選択してOKボタン押下。

使用許諾契約の条件に同意しますにチェックを付けて ファイル名に「configuration.xml」を指定して 「エクスポート」ボタンを押下。 ファイルの保存先は「デスクトップ」に保存してください。

※以降、画面キャプチャーを載せます。



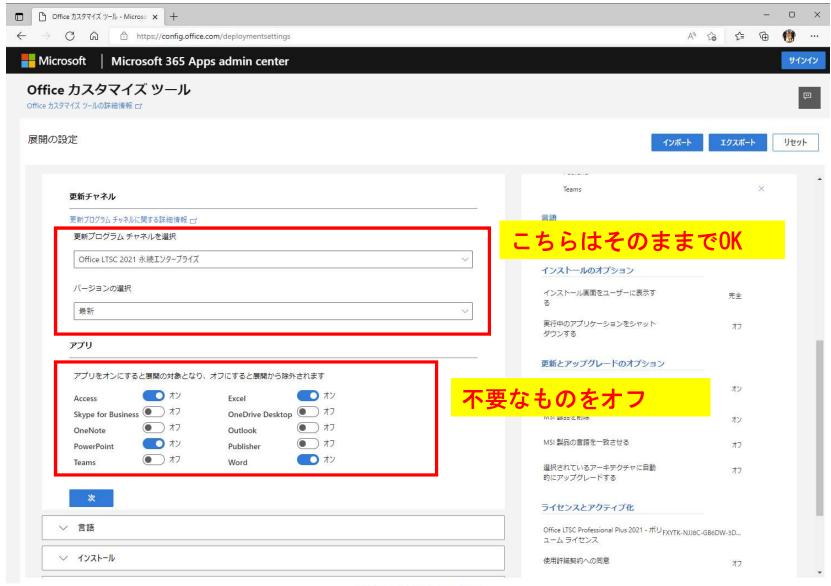
【Office2019の場合】(続き)



法的情報 ロ | ブライバシーと Cookie ロ

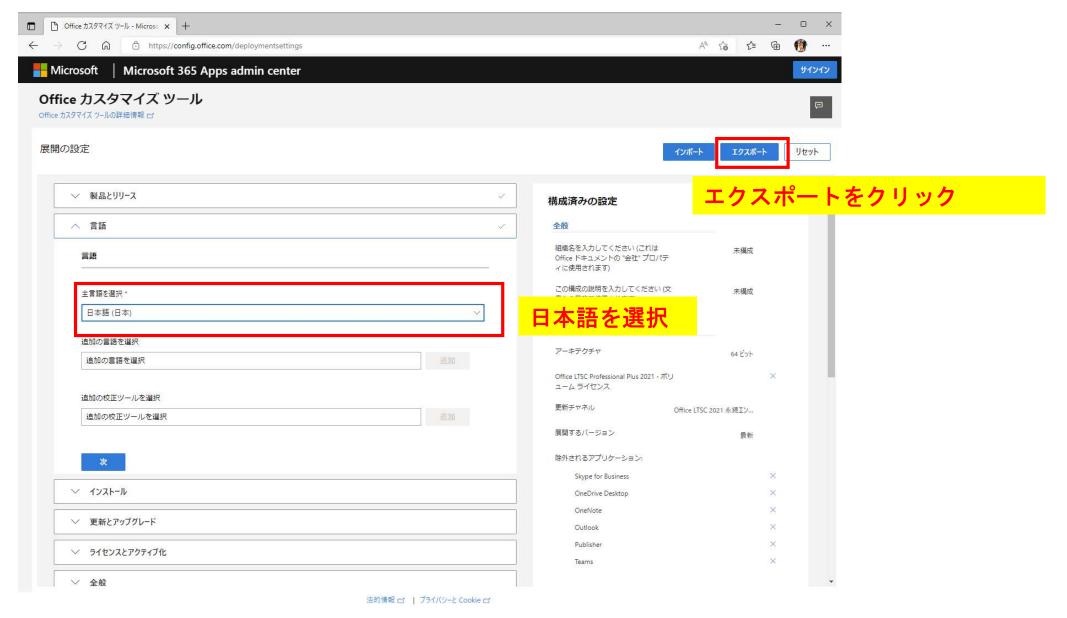


【Office2019の場合】(続き)

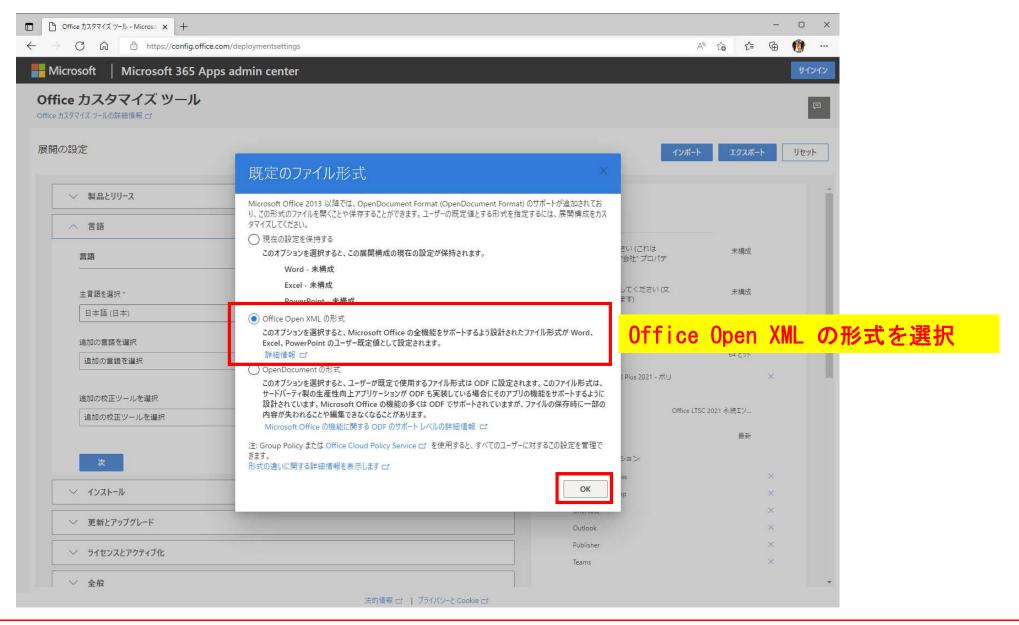


法的情報 ロ* | プライバシーと Cookie ロ*

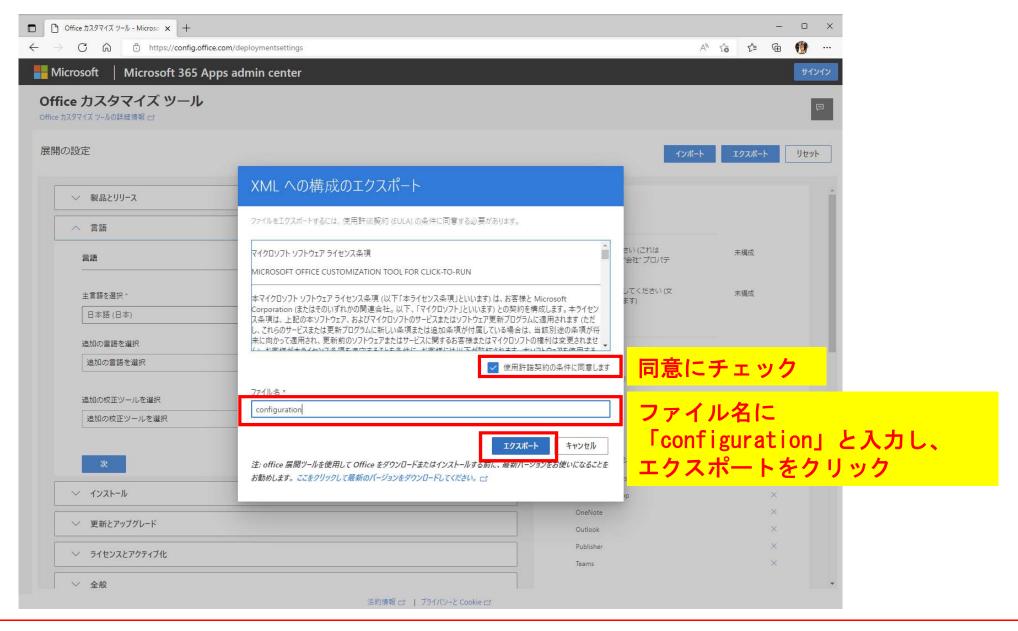










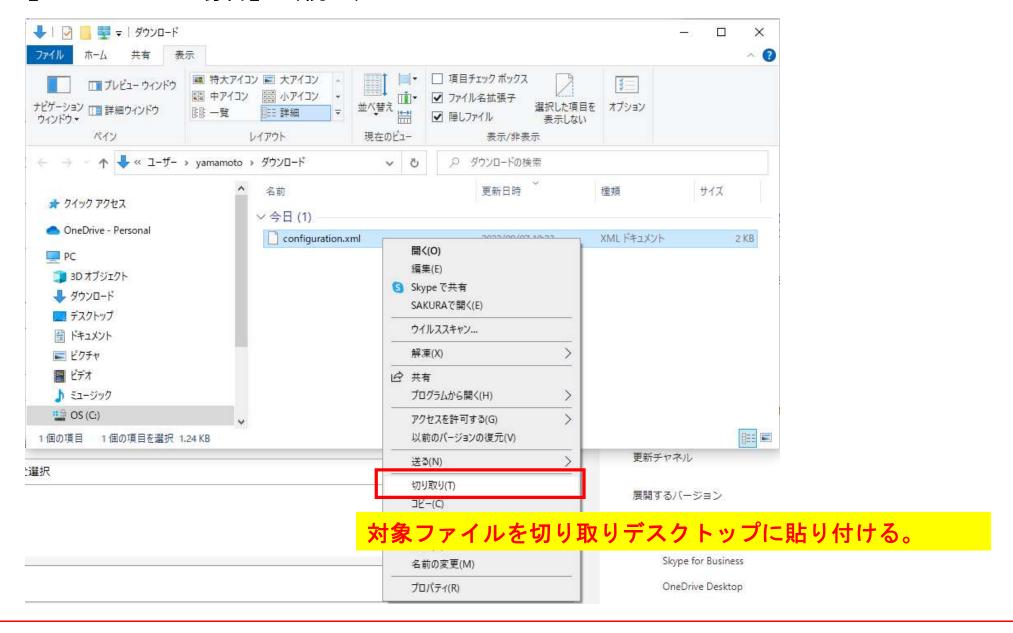












3. インストール実施



- スタートメニュー>Windowsシステムツールの中にあるコマンドプロンプトを管理者実行します。
- 2. コマンドプロンプトが起動したら以下のコマンドを実行する。 コマンドを実行するとインストールウィンドウが表示されます。

cd desktop
setup /configure configuration.xml

- ※「cd desktop」でデスクトップディレクトリに移動できない場合は 以下のコマンドでお試しください。 「cd C:¥Users¥○○¥Desktop」 ←○○はログインユーザー名
- 3. スタートメニューを開きインストールされたOfficeをクリックして起動する事を確認し、ライセンス認証を行ってください。